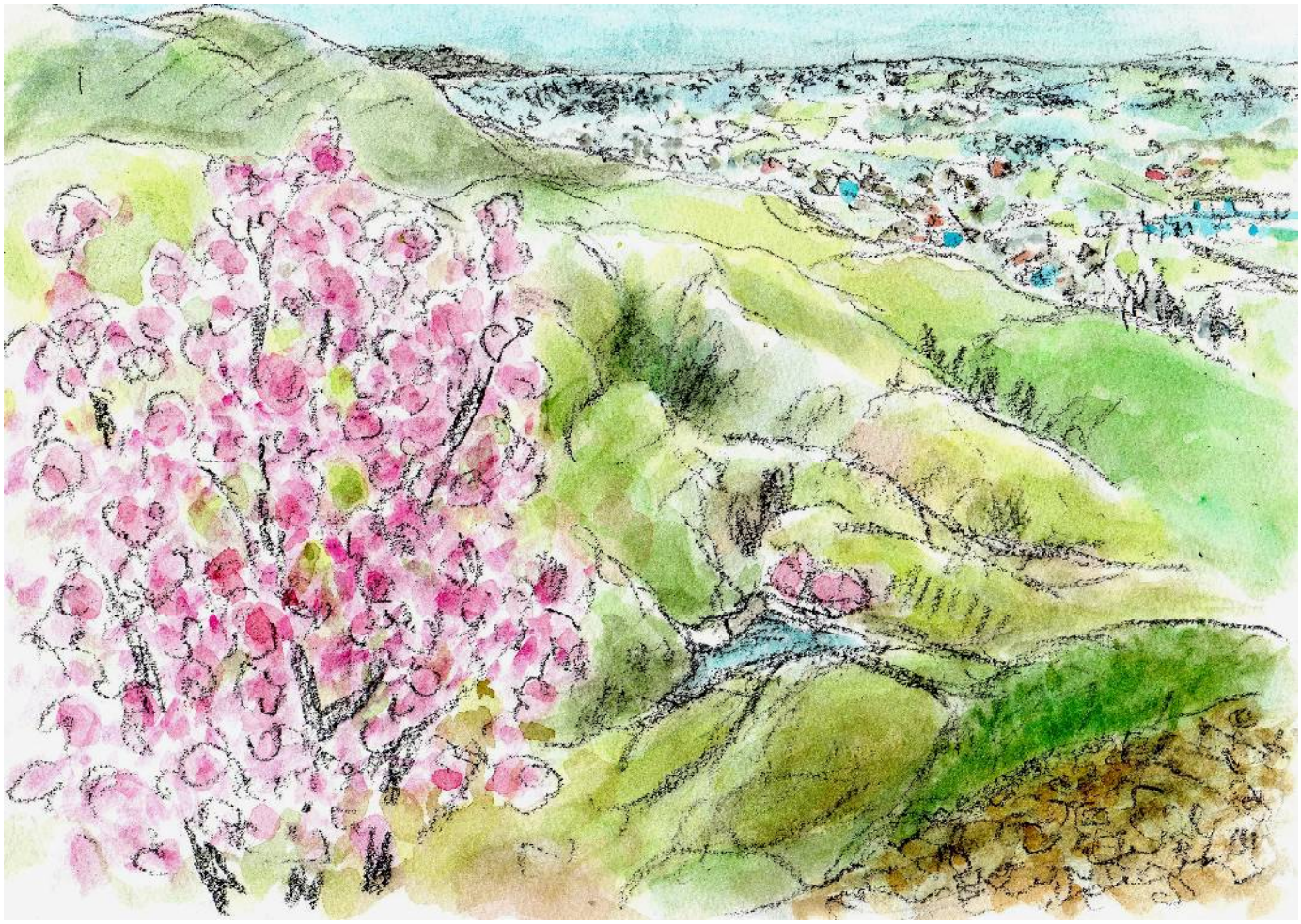
会報
日本勤労者山岳連盟（富山県連盟）
新日本スポーツ連盟
三島野スポーツクラブ
No. 224
2019年5月1日
代表　岩井　富雄
射水市宝町1364-35
TEL・FAX 57-8180



倶利伽羅峠の春　　小木　清

5月･6月企画案内

5／12　**沼の原湿原**
5／22　**千石城山**
自主企画　5／19　**大辻山**

6／2　全国労山一斉　クリーンハイク
6／8　呉羽丘陵ハイク
自主企画　6／9　**大辻山**

山行報告

早春の木曽駒ヶ

花の山巡り
弥彦山と多宝山

大倉山

労山機関誌「登山時報」に
三島野スポーツクラブ紹介記事

ポスターつくりました

5月･6月企画案内

山の木々が萌え、つぼみ膨らむ
鮮やかな緑・豊かな自然のなかへ

5/12(日) 沼の原湿原 妙高市／飯山市

広さ 21ha、開放的な雰囲気の沼の原湿原はまさに花と野鳥の宝庫。
4 月下旬の雪消えの頃から夏の終わりまで、さまざまな湿原植物が咲き、目を楽しませてくれる。特に 5 月のミズバショウとリュウキンカ、そして残雪の競演は見事。

【集合・出発】　6 時 00 分　薬勝寺池Ｐ
【行程】
湿原周回コース約 7 Km 歩行時間　約 4 時間
体力・技術とも★☆☆☆☆
【参加申込】
5 月 5 日まで堀井へ　SMS 090-1314-6394
【費用】5,000 円（交通費　ほか）

ミズバショウ咲く沼の原湿

5/22(水) 千石城山

上市町　758m

剱岳を真正面に眺められる山

【集合・出発】薬勝寺池Ｐ　8 時 00 分
【行程】
上市川ダム湖（早乙女湖）から林道を展望櫓へ
そこから少し先に登山口　　展望台　　頂上
下山は往路を下る。
標高差 約 300m　歩行時間 3 時間
体力・技術とも★☆☆☆☆　〈L〉荒井英治
【参加申込】5 月 12 日まで荒井英治へ
携帯 or SMS 080-8695-6639

千石城山展望台から剱岳遠望

堀井の自主企画

2016 年茅ヶ岳登山で案内してもらった山梨山の会の齋藤さんと登ります

5/19(日) 大辻山

上市町／立山町　1361m

雪の立山・弥陀ヶ原と雪解けで水量豊かな称名滝の展望台

【集合・出発】薬勝寺池Ｐ　8 時 00 分
【行程】
長尾峠 ⟶奥長尾山 ⟶ブナ平⟶ 大辻山　　登山路を往復
標高差 約 550m　歩行時間 3 時間 30 分
体力・技術とも★☆☆☆☆　〈L〉堀井泰則
【参加申込】5 月 9 日まで堀井泰則へ
携帯 or SMS 090-1314-6394

6/2(日) 労山いっせいクリーンハイク 赤祖父山

Clean Hike Appeal 2019

全国の山からゴミをなくすために
清掃登山・クリーンハイクを実施・成功させよう

山歩きを楽しんでいるときに、ゴミが落ちていたら楽しみも減少します。

日本勤労者山岳連盟は、1974 年から全国の地方連盟・会・クラブに、清掃登山・クリーンハイクを呼びかけ、毎年 6 月（東北・北海道は 7 月）の第一日曜日を全国一斉の清掃登山・クリーンハイクの日として取り組んでいます。今年で 46 回目を迎えます。

昨年は、431 の会・クラブが 330 の登山コースで取り組み、6007 名が参加し、4699 ㎏のゴミを回収しています。登山コースのゴミも少なくなっており、ほとんどないという報告もあり、登山者のモラルが向上していることの表れです。しかし、登山口の近くや駐車場にはごみが散乱しているところもあります。また、産業廃棄物と思われるゴミも確認され、それぞれの地方自治体に連絡して回収すよう呼びかけています。

クリーンハイクは、登山者が誰でもどこでも取り組むことのできる自然保護活動の第一歩です。清掃登山・クリーンハイクの行動は、単にゴミを拾うというだけでなく、山を汚さず傷つけないという登山者のモラルを高める呼びかけでもあります。広範な登山者に山の自然の大切さをアピールする行動として、参加を呼びかけるものです。

積極的なところでは、自治体などと協力し後援を受けて、一般登山者にも広く訴えて、一般参加者や子供たちにクリーンハイクの体験をしてもらい、自然保護がいかに大事であるかを伝える取り組みも行われています。

全国一斉清掃登山・クリーンハイクに向けて準備し、実りあるものにしましょう。

記

1. **ゴミは山に捨てないで持ち帰りましょう。**
2. **登山者・ハイカーだけでなく、一般旅行者、外国からの登山者にも声をかけ、ゴミの持ち帰りを呼びかけましょう。**
3. **トイレの問題も深刻です。携帯トイレを必ず携帯し、利用する事で自然への負荷を減少させましょう。**
4. **全ての登山者・ハイカーが、山と緑の番人、山岳自然を守る番人としての自覚をもち、山歩きを楽しみましょう。**
5. **山岳自然破壊のも関心をも持ち、情報を報告してください。**

2019 年 4 月　日本勤労者山岳連盟

【集合・出発】薬勝寺池 P　7 時 00 分

【行程】

登山口から赤祖父山山頂を往復します。クリーンハイク初めての山です。

【参加申込】5 月 23 日まで岩井富雄まで

FAX 0766-57-8180　　SMS 090-5177-9255

新緑のブナ林を楽しみながらゴミを拾いましょう！
たくさんの参加を期待しています。

左：昨年のクリーンハイクで拾ったゴミ

歩きませんか 呉羽丘陵大縦歩

6/8(土)

私たち三島野スポーツクラブが世話人会などで便宜を図ってもらっている中太閤山コミュニティーセンター主催の企画ですが、クラブ相談役・山田格さんの計らいで参加できることになりました。

【集合】中太閤山コミュニティーセンター
8時00分　出発　8時30分
【行程】北端の五百羅漢・長慶寺から富山大学附属病院近くの御鷹台公園まで約7.5Km
歩行時間 約4時間
出発地点までと到着地点の送迎をします。
中太閤山コミセン帰着予定は16時00分
【参加申込】5月29日までに岩井富雄へ
FAX 0766-57-8180　　SMS 090-5177-9255

長慶寺五百羅漢

白鳥城址

登山の基本をまなぶ

三島野スポーツクラブ

登山セミナー

6/9(日)

【集合・出発】薬勝寺池P　8時00分
【訓練場所】立山駅横の真川河川敷
訓練内容　・堤防壁で三点支持登攀と下降
・急斜面トラバース
・渓流徒渉
・簡易ハーネスの使い方
・ツェルトの使い方、張り方
・他
必ずヘルメットを持ってきてください。
入浴準備も　16時頃に薬勝寺池P帰着予定

6月から9月にかけて・6/29 鉾ヶ岳・7/27～笠ヶ岳・8/11 西穂独標・8/25～唐松岳～五龍岳縦走・9/14～槍ヶ岳と北アルプスの企画が目白押しです。夏の北アルプスは登山するものにとってあこがれの山岳であり、登山の醍醐味を味わうことができます。

いずれの企画も過去に三島野では実施した経験がありますが、すべての登山路は必ず三点支持の登攀・下降があります。参加希望者は必ず参加しましょう。

“Challenge・Enjoy・Safety”をめざして！

6/29(土)

鉾ヶ岳

糸魚川市　1316m

【集合・出発】薬勝寺池P6時00分
【行程】能生ICから溝尾登山口へ
鉾ヶ岳山頂まで往復
単純標高差　900m
登り3時間　下り2時間30分
体力度・技術度とも★★★☆☆
詳細は次号の会報№225で案内します

山行報告　3/24(日)～24(月)　木曽駒ケ岳　2956m

メンバー；的場邦夫、新田俊明、塚　良昭、加藤日出子、棚田清志

【行程記録】

1日目

薬勝寺P6：00　⇒　駒ヶ根菅の台バスセンター10：15～11：15

⇒　しらび平11：45～12：05（ロープウェイ　⇒　千畳敷12：15　昼食

⇒　雪上トレッキング13：00～14：30　サギダル岩峰直下　⇒　ホテル千畳敷（泊）

2日目

千畳敷6：10　⇒　乗越浄土7：30　⇒　中岳8：00　⇒　木曽駒ヶ岳8：45　⇒　中岳9：25

⇒　乗越浄土9：55　⇒　千畳敷10：30　⇒　10：55発ロープウェイ　⇒　しらび平11：00

⇒　駒ヶ根菅の台バスセンター12：00　⇒　こぶしの湯　♨と昼食　⇒　薬勝寺P17：30

ひとくち感想

塚　：　出発時、雪がちらつき心配した。湯の花街道は積雪圧雪状態だったが、松本市に抜ける頃には青空が広がり期待が高まる。菅の台からのバスもロープウェイも日曜日とあって老若男女で満員状態。ホテル千畳敷で昼食を済ませ、サギダル岩峰直下までアイゼンを付け雪上訓練。新雪が凍りきってないので、足が取られ歩きにくい。1時間余り汗をかき、楽しみの大宴会で盛り上がり夢の中へ。夜中に突風の音が何度か聞こえ、明日の予報がCランクだったので心配になる。明朝青空の下、いよいよ昨年のリベンジに出発。矢張り乗越浄土までの急斜面は辛い、青息吐息で何とか到達。中岳へ向かうが昨年同様、吹き飛ばされそうな突風に何度も襲われながら進む。体感温度はおそらくー20℃位だろう。手袋が薄かったので凍傷になりそうだ。心が折れそうになりながらも一歩一歩進む。どの位歩いたのだろうか。気が付くと木曽駒ヶ岳の頂上に立っていた。何と目を見張る光景だろうか。遠く北アルプスの峰々。中央アルプスの山々。そして富士山をバックに南アルプスの稜線と御嶽山の雄姿。まさに眼前に大パノラマが広がる。しばし時を忘れて立ち尽くしていた。

新田：　昨年強風と天候の悪化により中岳で余儀なく撤退した木曽駒ヶ岳のリベンジに成功して大満足です。昨年の経験から今回強風と寒さ対策として目出し帽（別名デストロイヤー）を装着しました。
寒さ対策として効果はありましたが、飲み物や食べ物が非常に摂りにくいことが判明し今後なんらかの対応が必要と感じています。

棚田：　圧倒的な迫力で眼前に拡がる藍色の空と白く輝く 3000 メートル級の稜線。千畳敷カールの堅く締まった広々とした雪原。訓練で覚えたステップで一歩一歩高度を上げた乗越浄土への急登。中岳付近のよろめく程の強風と顔が痛く感じるほどの寒さ。木曽駒ヶ岳山頂の北アルプスまで見える 360 度の雪山の眺望。そこに立って見る景色、感じる風と寒さ。雪山を堪能した山旅でした。

加藤：　昨年のリベンジ木曾駒ケ岳春登山へと向かった。初日は千畳敷ホテルに着き、アイゼン装着しサギダル岩峰直下を雪上トレッキングした。標高差 200m の登上からの眺望は、目が眩む程美しかった。風呂で疲れを癒し宴会で盛り上がり、夕食の味噌カツも賞味し明日に備えて早々に就寝したが、夜中に風の音で目が覚める。

当日の天気予報は C ランクで、チョット不安な気持ちで AM6:00 スタートした。乗越浄土～中岳で休憩したが、身体が飛ばされる程の強風だ!!!心折れそうになるも登頂に思いを馳せた。ペットボトルが凍った位、凄く険しい登山体験でしたが、L と仲間のお陰で駒ヶ岳山頂に辿り着く事が出来、達成感一杯で感激です。sannkyu(^_-)-☆

的場：　激安プランに惹かれて昨年と同じ企画で木曽駒ヶ岳を目指す。昨年は天候が悪く中岳で断念している。今年は初日の登山指数は昼からＡ、翌日はＣになっているが天候は晴れになっている。我々は朝早く頂上を目指すので風の影響は少ないと判断し予定通り二日目に頂上を目指すことにした。初日はサギダル頭周辺でアイゼンとピッケルワークで軽く汗をかく。千畳敷を見れば登山者が白い雪の上を蟻の行列で行き来していた。

ホテルの前で（2600m）日の出を見てから登山開始する。気温はマイナス１０度を下回っている。荒い息をしながら乗越浄土（2850m）に出る。風はそこそこある。寒いので小屋陰で休憩し中岳（2925m）を目指す。増々風が強まる。体感はマイナス１５度は超えていると思う。中岳の岩陰で休むが容赦なく風が方々から吹いてくる。頂上山荘（2870m）目指しいったん下る。山荘前に下ると風が弱く太陽が照りつけ少しは温まる。頂上まで（2956m）登る。遂に頂上に立つ。青空と白く輝く山々、そして黒い岩肌と見事なコントラスト。幸せな気分だ！！やったぞー！！最高！！

山行報告　4／14　弥彦山・多宝山

新潟県弥彦村　634m　633.7m

メンバー：

〈L〉堀井泰則、古川三郎、林　憲彦、小坪哲彦、川渕順正、的場邦夫、塚　良昭、 宮本久子、竹内啓子、島倉津也子、高井増美、松田はる美、岩越理代、

【行程記録】

薬勝寺 P5：30　駐車場出発→
9：00　参拝 登山口→9：15　一合目→
9：30　六合目→10：15　九合目→
10：50　弥彦山頂上→11：00　昼食展望台
→12：00　多宝山頂上→12：30　展望台
→13：15　駐車場→14：30　入浴後帰路
19：30　薬勝寺 P 着

一口感想

堀　井：弥彦に向かう車中からあちこちに見る桜が心を浮き立たせてくれる。登山口の弥彦神社の駐車場の周りの桜が満開の時を迎え、山にはカタクリの群生が花ひらき、雪割草やトキワイカリソウなどの花々も見ることができた。海越しの佐渡島、眼下に広大な越後平野と展望にも恵まれて気持ち良い山歩きでした。越後平野の向こうに見えた白い山々の山座同定が…守門岳？飯豊連峰？新潟県の山に登っていない弱点？があきらかになった。今日は弥彦山山開き、そして桜まつり、人と車がごった返していた。

林　：前回の弥彦山登山より天候に恵まれ沢山の花にも出会え楽しく登れました。でも体力の衰えは否めず、ずっと最後尾を歩くことになりました。弥彦山では多宝山へ行くのはあきらめようと思っていたのが昼食を摂ってから少し元気が出て、登ることができました。シャリバテもあったか？行程を考えた食事・睡眠時間などの調整の必要性を感じた山旅でした。

（お詫びと訂正）…前回の上高地トレッキングの感想文中、漢字で跋扈を使っていましたが私の勘違いで、雪道で下駄の歯に雪が挟まり歩きにくくなったのを私の土地ではばっこついたと言っていました。他ではばっきついたとも言っていたようです。跋扈とばっこ（ばっき）は全く違った意味ですので跋扈の文言をお詫びし取り消します。ご了承ください。

小　坪：初めての弥彦山、越後一宮の“弥彦神社”にお参りできた喜びと、こんなにもカタクリが群生する山は初めてで感動しました。往復５時間余りで体力確認のいいトレーニングになりました。

川　渕：高速道路を走る車窓からみた弥彦山＆多宝山は、可愛いフタコブラクダのように見えた。ところが麓に着くと標高６４３ｍながら、堂々とした山容でした。弥彦山はこの日がなんと山開きの日でした。山道はよく整備され、初心者にも登りやすく、この季節幾種もの山野草が咲き誇っている。なかでもカタクリの群生はそこら中にあって見事でした。春の行楽を楽しむにはピッタリの山で、山頂から日本海越しに見える佐渡島の近さにも驚きでした。天気も良く、温泉も良く楽しい一日でした。道中キクザキイチリンソウ・イカリソウ・雪割草が迎えてくれるが、なんと言ってもカタクリの群生が圧巻だった。山頂からは守門岳・粟ヶ岳・飯豊山等、越後や東北の山々が素晴らしかった。

的　場：桜、雪割草、スミレ、カタクリ、花が見頃で満足でした！！見晴らしも良かったです。

**塚　**：当日は桜まつりと弥彦山の山開きの日が重なり、沢山の観光客で溢れている。天気にも恵まれ、満開の桜を眺め登山を開始。弥彦山まで２時間、更に多宝山まで１時間と結構登り応えがあった。

宮　本：車中からの弥彦山と多宝山は吊り尾根のようでワクワクしました。天気良し、桜は満開、カタクリの群生と飽きることが無く初心者におすすめと有りましたが、なかなか登りがいのある山でした。

竹　内：桜が見事でした。カタクリをはじめ山の可憐な花に出会えて嬉しかったです。風も心地よく、佐渡島を間近に眺めて、本当に楽しい山行でした。新潟県は大きいですね、長い時間の運転本当にありがとうございました。

島　倉：移動距離の長い山へ行くときの楽しみの一つは、車中の会話と車窓からの眺めです。どこもここもサクラがとてもきれいで目と耳を楽しませてもらいました。登山靴をはき、ザックをしょえるうれしさは満開の桜のようにうきうきさせてくれました。まずは低山から現在の自分をためしてみたくて参加しました。ちょっぴり自信が持てたかな？？？。帰りの車中から見上げた北アルプスに登っている姿を想像しながら７月からまた参加したいとおもいます。よろしくどーぞ！運転担当の３人の方々ご苦労様でした。ありがとうございました。

高　井：桜を愛でることによろこびを感じ、かたくりの群生に癒された山行でした。

松田は：長い距離を運転して下さった男性陣に感謝です。佐渡島があんなに近くに見えるなんて、やっぱり遠いんですね。新潟は長いなと改めて感じると同時に翌朝、足に違和感を感じました。夏シーズンにむけて体力作りをもっと頑張れと気付きをもらえるよいきっかけになりました。

岩　越：山開き当日で、大勢の観光客や登山者がいました。気温が思ったより暑く、薄手のものを着てこなかったので汗だくでした。しかし、観光地なので、ロープウェイ山頂駅にアイスの自販機が設置されていてモナカアイスを食べることができました☺。

弥彦山（634m）、多宝山（633.7m）山行記

古川三郎

多以前勤めていた会社に弥彦神社の宮司の資格を持った同僚がおり、毎月１日の安全朝礼において、厳かに安全祈願の祝詞を唱えていたので、弥彦神社を祀った弥彦山はどんな所か一度訪ねて見たいと思っていた。会報に体力、技術度共に★１個とあり、チャンスと申込む事にした。ただ、５時出発が心配だったが、送付された計画書は５時半になっていたので少し安心する。しかし、感想担当に当選しておりガックリするが、昨年７月の２０周年記念（斑尾山・飯縄山）以来の参加なので順番かと諦める。朝３時に起き、外に出て空を眺めるが真っ暗闇、しかし、気温が低く、まして神様を祀った山だから雨は降らないだろうと自己判断する。久々の薬勝寺Ｐに行く。既に、皆さん揃っており暫くぶりなので丁寧？に挨拶したつもりだが…。少し前に出発、車中、雪冠の立山連峰と満開の桜に幸先は吉と一人合点する。名立谷浜 SA と米山 SA で小休憩を取る。米山（993m）へは 2008 年 10 月、故黒川さんリーダーで登ったことを思い出す。左右に広い越後平野を眺めるうちに大きな赤鳥居に迎えられ、8：45 ほぼ予定どおり登山口に着　駐車場は各県ナンバーの車で一杯である。装備を整え 9:00 登山開始、石畳の参道は参拝客で結構混んでいる。茶店のおかみさん曰く、今日は山開きなので、

山頂でお神酒が振る舞われるとの事、楽しみである。神様に心ばかりのお賽銭と 4 拍手でお参りし、杉木立の中登山道へ進む。一合目から頂上まで道はよく整備されているが、急登と階段の連続には参り山である。途中、山開きのお世話をしたようなおじさん達が沢山下りて来られたので、お神酒はタイム・リミット。残念至極。11：00 頂上着。頂上は結構広いが、登山者や観光客で混んでいる。弥彦山ロープウェイや弥彦山スカイラインで容易に登れるので、観光地並の感があるが、展望は上々、佐渡島を望み、2010 年 5 月、大佐渡山脈縦走し最高峰の金北山（1,172m）に登った事が思い出される。昼食後、記念写真を撮り、11：40 多宝山（十宝山）向け出発する。ダウン・アップであるが、喧騒が無く、ときたま鳴く鶯の声に癒やされる思いである。12：30 頂上に着く。眺望絶佳、2013 年 3 月、角田山（482m）に登り標高の割りに勾配に苦労した記憶と灯台を思いだす。写真撮影後下山開始。矢張り下りは楽である。13：45 ロープウェイ山頂駅に到着。徒歩組とロープーウェイ組に分かれて下山する。14:20 登山口着。15：00～16：00 さくらの湯・入浴・会計精算。米山 SA・境 SA で休憩。19：30 薬勝寺 P へ無事帰着。

ドライバー担当の方々、6 時間を超える運転、お疲れの事と思います。感謝し本当に有難うございました。また、参加の皆様、楽しい一日に有難うございました。

年の所為で、愚痴っぽい事を記しました。また、記憶に定かでない面もありますが、何卒ご容赦ください。

山行報告 4/21（日） 大倉山

上市町／魚津市
1443m

メンバー：(L) 新田俊明、(SL) 塚　良昭、岩井富雄、松田はる美、加藤日出子、守田清子

【行程記録】
薬勝寺 P7：30→林道口早月 8：30
→登山口 9：00→大倉山 12：00
→大倉山山頂発 12：35→登山口 14：35
→林道口早月 15：10
→湯神子温泉着 15：30
→薬勝寺 P 着 17：30

立山連峰をバックに

タムシバとマンサクの花ひらく

ひとくち感想

岩　井：　うす曇りながらも展望はよく感動しました。塚さんのペース配分が良く大変楽しい登山で元気をもらいました。

新　田：　大倉山が三島野の会企画として初めてと聞いて少し驚きました。残雪期の山頂からの眺望は天候に恵まれればいつまでもそこに居たいほどです。

塚　：　登山口からいきなりの急登だが、両側には満開のイワウチワの群生が素晴らしく、疲れを癒やしてくれた。登山後半は残雪のナイフリッジの尾根歩きが厳しかったが、山頂の眺望は毛勝三山・剱岳・立山を間近に拝むことができた。

守　田：　毛勝三山・剱岳を目の当たりに、先行者が残していった雪のベンチは特等席！贅沢なランチタイムのご褒美でした。ご一緒したメンバーの皆さま楽しい山行でしたね。ありがとうございました。Ｌ、ＳＬのおかげです。それにしてもバッチリな時間配分は驚きでした。

加　藤：　標高 1000m当たりからの積雪に気を配り登った。頂上の展望は 360 度の大パノラマで最高でした。

＝はじめてのアイゼン　大倉山＝

松田はる美

馬場島へ行く度に見かけた大倉山の案内板。いぜん馬場島山荘で蕎を食べているとき、前にいらした男性は毎年大倉山に登っていると話されていました。あの時からいつか登ってみたいと思っていました。予定表に大倉山をみつけ迷わず申し込む。なんと私が一番手だったとか（笑）

今年に入り往復 5 時間の山登りは初めてのような気がして、久しぶりに登ったな～と感じました。登山口早々に、いきなりの急登。テンションあがります。クズバ山を思いだす。両側にイワウチワのピンク色が広がり癒しをくれます。標高 1000mを超えたあたりから雪が登場！！　昨年ボーナスで軽アイゼンを購入していました。まだ使ったことありません。やっと使うことが出来る。軽アイゼンですら上手く履けない（家で練習していたのに・・）アイゼン！！　履くとやっぱり便利でした。

山頂まではいくつかの尾根を通る。尾根はやっぱり怖い。怖い所は足がすくむ。尾根でのポールの使い方を教えていただき、実践してみると『なるほど～』って感じ。

山頂は貸切でした。直前に多くの方が下山されていきました。女性３人で毛勝三山をバックに扇をやってみたり（笑）私が声をかけると快く答えて下さった加藤さん・守田さん。ありがとうございました。曇り空でやや霞んでいましたが憧れの剱岳＆毛勝三山も見ることができました。

予定時間通りに先導して下さった塚さん。緻密に計画をして下さった新田さん。ポイントで登山のアドバイスを下さった岩井さん。6 人でゆっくり山頂を堪能。登りたいな～と思っていた山はいつか実現できるんだと思いました。人生も一緒でしょうか・・・・

元気な女子部の扇がひらく

2019年版 新会員募集の
ポスターをつくりました

これまでポスターを見て三島野スポーツクラブを知り、岩井代表に問い合わせがあったことが幾度かありました。昨年はつくりませんでしたが、今年は新しい会員が増えることを願って作成しました。カラーでサイズは A2 版と A3 版の 2 種あります。どこか目立つ場所（例えばスポーツショップ、公共施設、ショッピングセンター、自宅 etc）に貼り出して宣伝したいと思いますのでご協力のほどよろしくお願いします。連絡があればお届けします。

日本勤労者山岳連盟　機関誌

登山時報 5

全会員にお届けします。

この登山時報の 36 頁・37 頁に見開きで「三島野スポーツクラブ」を紹介する記事が掲載されています。

クラブの基本方針・考え方などを簡潔に伝えることができる内容だと思います。

あなたの身近におられる山好きの人に見せて“入会していっしょに山を楽しみませんか”と声をかけてみてはいかがでしょうか。

登山時報 この機会に定期購読しませんか

毎月 15 日発行　定価 310 円です。クラブでまとめて注文し、三島野スポーツクラブの会報といっしょにお届けしています。注文・問合せは岩井富雄または荒井英治まで連絡してください。

登山用語のひとくち知識

乗越のっこし

中央ア・木曽駒ヶ岳の山行報告に「乗越浄土までの急登はつらい」という一節。乗越浄土いう地名が出てきます。立山周辺にも「別山乗越」「室堂乗越」「スゴ乗越」後立山には鹿島槍ヶ岳手前の「冷乗越」や針ノ木岳縦走路の「新越乗越」など地名のほかにもあります。

乗越とは二つの峰の低くなった部分。尾根を乗り越えるところのこと。峠はそこには必ず道があるが、乗越は道の有無を問わない。また、尾根の単にくぼんだ所は鞍部という。

（登山用語データブック　山と渓谷社　より）

〔三島野スポーツクラブ世話人会〕

任務分担	氏　　名	住　　所	TEL	携帯
代　表	岩井　富雄	射水市宝町 1364-35	57-8180	090-5177-9255
副代表	的場　邦夫	氷見市十二町 1037-36	74-6434	090-4320-5325
会計担当	荒井　英治	射水市上野 465		080-8695-6639
会報担当	堀井　泰則	高岡市石瀬 748-6	25-2792	090-1314-6394
事務局	小坪　哲彦	射水市中太閤山 5-59	56-3028	090-4684-4198

世話人会は上記の方々と、川渕　順正、林　憲彦、山本　則夫、岩越　理代、加藤日出子、甲　厚子、塚　良昭、新田俊明で構成します。　〔相談役〕山田　格　〔監事〕上田　千秋、竹内　啓子

5 月の世話人会開催は **5 月 7 日（火）と 5 月 21 日(火)**の午後 7 時からです

会場は**中太閤山コュミニティーセンター**です。

編集後記

◇ 雪から解放される山は緑あふれ、太陽の陽を待ちわびたように花が咲きます。これまでも触れましたが季語“山笑う”という言葉が感覚的に納得できます。それが「弥彦山・多宝山」の山行報告に感じました。

◇ 春の里山歩き企画が続きます。そのなかで『呉羽丘陵　大縦走』ならぬ『歩』は呉羽山の全山を歩きます。山田格相談役から声をかけていただきました。ダイナミックなウォークです。登山口と下山口へ送迎付きです。なかなかできない企画です。この機を逃すな！

◇ 三つの山行報告は読んで楽しく、参加しなかったのが悔やまれるというか、参加した人がうらやましいというか、そんな気持ちにさせる報告です。

◇ 当クラブが登山時報に紹介された文を読み、写真を見て“労山の一員だからこそ”のクラブの運営を感じました。自画自賛でしょうか。登山仲間や家族などに誇れるクラブに！もっと！もっと！

会報についてのご意見などお寄せください。山の出来事の面白い話も。

堀井まで　E メールアドレス horii.yasunori@rouge.plala.or.jp

ＦＡＸ&☎　0766-25-2792　　携帯 090-1314-6394

ネットで会報の閲覧ができます。〔三島野スポーツクラブ〕を検索し、〔会報〕をクリックするとこれまでの発行済みの会報が全頁フルカラーで見ることができます。